



消防千葉

2018 No.558 平成30年1月号

平成30年1月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



中の島大橋（木更津市）君津支部

年頭のごあいさつ



明けまして
おめでとうございます。



明けましておめでとうございます。

県内 34,000 名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日夜、火災や地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されていますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、近年、熊本地震や九州北部豪雨など、災害が大規模化しており、本県においても首都直下地震や過去に経験のないような風水害がいつ発生するかわかりません。そのような中、消防に対する県民の期待はますます高まっており、消防防災体制の更なる強化が求められています。

昨年 8 月には、第 38 回九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練を匝瑳市で開催し、自衛隊、警察、消防機関、医療関係団体、ボランティア団体、また地域住民からなる自主防災組織など 111 機関、約 5,000 人の方々に御参加いただきました。

この訓練では、倒壊建物や車両からの被災者の救出、応急救護所での迅速なトリアージ活動などの事案対処訓練や、自主防災組織が中心となった避難所運営などの実践的な訓練を実施し、防災関係機関の連携強化、更には県民への減災意識の醸成を図ったところです。

また、県では、複雑・多様化する災害に的確に対応するため、消防職員や消防団員に対し、より高度で実践的な教育訓練を実施するとともに、地域防災力の更なる充実強化を図るため、県民や事業者、自主防災組織等の皆様が実践的な訓練・研修も行えるよう、平成 31 年度の供用開始に向けて「消防学校・防災研修センター」の整備を進めているところです。

「安全で豊かなくらしの実現」は県民すべての願いです。

今後とも東日本大震災をはじめとする様々な災害の教訓を生かし、県民、事業者、自主防災組織、市町村、県が一丸となり、地域防災力の向上を図り、災害に強い千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

平成 30 年元旦

千葉県知事 森田 健作

年頭のごあいさつ



平成30年の輝かしい新春を迎え、
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係の皆様には、常日頃、地域の安心と安全を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けられておりますことに対し、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

また、平素から当協会の運営や活動に対し、格別のご支援、ご理解を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、自治体消防は、関係各位のご努力により、各時代の要請に応えつつ、着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として住民から多大な信頼と期待が寄せられております。

東日本大震災以来、首都直下型地震や南海トラフ地震等の発生が危惧されるなか、自然災害では、昨年は7月に九州北部豪雨があり、10月には台風が相次いで本州を縦断、接近し、全国各地で甚大な被害をもたらしました。

このような中、千葉県消防協会としましても、東日本大震災後の我が国の消防防災体制のあり方を示す「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、快適で安全安心な郷土をつくるために、各地の消防団が活性化し、常備消防と協力して、消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、更に努力してまいります。

昨年は、柏市女性消防隊が、9月に秋田市において開催された全国女性消防操法大会に出場し、惜しくも入賞を逃したものの、指揮者が優秀選手に選出されるなど、本県の実力を知らしめました。

また、女性消防団員の確保の促進につきましては、平成26年度に浦安市において開催された第20回全国女性消防団員活性化ちば大会を契機に毎年開催しております女性消防団員活性化シンポジウムを11月に開催したところ、たくさんの方々の参加をいただき大いに盛り上がったところでした。

新しい年を迎え、今年も、本県消防の発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防団員の確保策の検討、消防団の活性化、消防職・団員の福利厚生等の促進等に全力で取り組んでまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻、さらに、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

結びに、本年が災害のない平穏な年でありますよう、また本県消防の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

平成30年元旦

公益財団法人千葉県消防協会会長
千葉県少年婦人防火委員会会長

石橋 毅

明けましておめでとうござ



香 取 支 部

香取広域市町村圏事務組合

香取市消防団長 齋藤浩勝

神崎町消防団長 遠藤栄治

香取広域市町村圏事務組合

多古町消防団長 熊澤信宏

香取広域市町村圏事務組合

東庄町消防団長 岩瀬 隆

海 匝 支 部

銚子市消防団長 芝岸 弘

匝瑳市消防団長 石田進康

旭市消防団長 鈴木 格

山 武 支 部

東金市消防団長 植松一夫

山武市消防団長 佐瀬儀光

大網白里市消防団長 北田宏彦

九十九里町消防団長 松井藤之

芝山町消防団長 小川総夫

横芝光町消防団長 椎名孝次

長 生 支 部

長生郡市広域市町村圏

組合消防団長 鈴木治夫

夷 隅 支 部

勝浦市消防団長 渡邊浩臣

いすみ市消防団長 莊司正博

大多喜町消防団長 二階堂孝

御宿町消防団長 小川 征

安 房 支 部

館山市消防団長 吉野隆志

鴨川市消防団長 佐藤則泰

南房総市消防団長 君塚弘和

鋸南町消防団長 大胡昌広

君 津 支 部

木更津市消防団長 地曳貞夫

君津市消防団長 小原幸春

富津市消防団長 石井輝之

袖ヶ浦市消防団長 佐久間貢

千 葉 県

防災危機管理部長 横山正博

消防課長 添谷 進

消防学校長 淡路武夫

千 葉 県 消 防 協 会 準 会 員

一般社団法人千葉県消防設備協会

東京電力フュエル&パワー株式会社

千葉火力発電所

鬼怒川ゴム工業株式会社

日本曹達株式会社 千葉工場

株式会社 MORESCO 千葉工場

丸善石油化学株式会社 千葉工場

旭硝子株式会社 千葉工場

コスモ石油株式会社千葉製油所

東京電力フュエル&パワー株式会社

姉崎火力発電所

三井化学株式会社 市原工場

住友化学株式会社千葉工場

JXTGエネルギー株式会社

日立化成株式会社 五井事業所

デンカ株式会社 千葉工場

日本中央競馬会 中山競馬場

流山キッコーマン株式会社

成田国際空港株式会社

空港運用部門保安警備部

成田山新勝寺

日華化学株式会社 関東工場

三井化学株式会社 茂原分工場

双葉電子工業株式会社

広栄化学工業株式会社 千葉工場

富士石油株式会社袖ヶ浦製油所

東京電力フュエル&パワー株式会社

袖ヶ浦火力発電所

NAAサーフティサポート株式会社

(順不同)



います 平成30年 元旦



公益財団法人千葉県消防協会

千葉県消防協会評議員

公益財団法人千葉県消防協会
顧問会役員等

県下市町村消防団長

最高名誉顧問	倉田寛之
特別顧問	石井利孝
会長	石橋 毅
副会長 (消防長会)	石塚正徳
同 (東葛飾支部長)	小田山博史
同 (山武支部長)	椎名孝次
同 (印旛支部長)	塚本正英
同 (海匝支部長)	鈴木 格
理事	河上 茂
同 (千葉支部長)	大野藤夫
同 (香取支部長)	齋藤浩勝
同 (長生支部長)	鈴木治夫
同 (夷隅支部長)	二階堂孝
同 (安房支部長)	大胡昌広
同 (君津支部長)	地曳貞夫
同 (消防長会)	杉田昭一
同 (消防長会)	青木一志
同 (県消防課長)	添谷 進
同 (県消防学校長)	淡路武夫
専務理事	齊藤正昭
常務理事	加藤充雄
監 事 (東葛飾支部)	高橋廣孝
同 (印旛支部)	斉藤弘一
同 (消防長会)	大塚 等
同 (公認会計士)	草薙信久

千葉 支部	小澤義昭
同	三代川彦博
東葛飾 支部	深井芳人
同	川上英明
印旛 支部	須藤達也
同	川上賢二
香取 支部	篠塚功明
同	熊澤信宏
海匝 支部	加瀬寿勝
同	石田進康
山武 支部	鈴木嘉宏
同	小川総夫
長生 支部	高山稔治
同	長谷川秀一
夷隅 支部	米倉正男
同	渡邊浩臣
安房 支部	川上良之
同	君塚弘和
君津 支部	古川和行
同	佐久間貢



相談役	田中榮一
同	松島 洋
同	金坂光一
同	川崎吉太郎
同	三代川利男
同	金子 裕
同	石川 實
同	秋元浩司
同	藤江進一
同	目良和夫
同	吉野正壽
同	内藤 肇
同	石井友治
同	石渡幸雄
同	五木田祥一
同	伊澤寿男

千葉 支部	原 久男
千葉市消防団長	三代川彦博
習志野市消防団長	大野藤夫
市原市消防団長	高橋章夫
八千代市消防団長	高橋廣孝
東葛飾 支部	井戸知一
市川市消防団長	小嶋 功
船橋市消防団長	染谷賢一
松戸市消防団長	小田山博史
野田市消防団長	小倉邦裕
柏市消防団長	吉田喜一郎
流山市消防団長	川上英明
我孫子市消防団長	平林清重
鎌ヶ谷市消防団長	村島義則
浦安市消防団長	板倉和雄
印旛 支部	塚本正英
成田市消防団長	斉藤弘一
佐倉市消防団長	中村教雄
四街道市消防団長	篠塚清春
八街市消防団長	関根勇夫
印西市消防団長	大野徹夫
白井市消防団長	
富里市消防団長	
酒々井町消防団長	
栄町消防団長	

平成29年度 消防功労者等の決定

消防業務または消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、(公財)日本消防協会と(公財)千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。平成29年度は、1,606人が受章されます。

- (1) (公財)日本消防協会長表彰 平成30年3月6日(火)
日本消防会館 ニッショウホール
- (2) (公財)千葉県消防協会長表彰 平成30年3月23日(金)
青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

平成29年12月19日現在

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	協会	合計
日本消防協会長	52	99	53	8	12	22	10	11	9	33		309
特別功労章												0
特別表彰まとい												0
表彰旗												0
竿頭綬												0
功績章(一般)	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
功績章(女性)	1											1
精績章(一般)	10	16	13	6	6	7	4	5	6	7		80
精績章(女性)	1	1										2
勤続章	36	75	34	0	4	12	4	4	1	23		193
優良女性消防隊												0
優良女性消防隊員												
永年勤続職員表彰												
千葉県消防協会長	166	406	242	47	69	83	46	81	68	89		1297
出初式	65	100	85	36	36	48	25	30	36	45		506
功労章	16	25	21	9	9	12	6	7	9	11		125
精勤章	49	75	64	27	27	36	19	23	27	34		381
千葉県消防大会	101	306	157	11	33	35	21	51	32	44		791
特別功労章	1	2	2	0	0	1	1	1	1	1		10
永年勤続功労章	52	156	82	5	19	19	12	27	15	24		411
功績章	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3		33
表彰	個人		7									7
	団体		1			1				1		3
感謝状	ア	44	128	67	4	12	11	6	21	14	15	322
	イ		5									5
合計	218	505	295	55	81	105	56	92	77	122		1606

平成29年度女性消防団員活性化シンポジウムの開催

平成29年11月28日（火）にポートプラザちばを会場として、公益財団法人千葉県消防協会が主催し、千葉県の後援により、平成29年度女性消防団員活性化シンポジウムが開催されました。県内から、約130名の女性消防団員等が参集し、盛会であった。

消防協会を代表し、石橋会長から開会の挨拶があり、また今年度から後援をいただいた千葉県の添谷消防課長から挨拶があった。

続いて、東京大学・東京理科大学名誉教授、日本大学大学院教授の菅原進一氏から、「地域防災力の向上を目指して～地域で輝く女性消防団員の活躍～」と題して基調講演が行われ、その後に、4つの消防団から活動事例の報告があった。

NHKなど災害報道における解説者として出演をしている菅原講師からは、地域で輝く女性消防団員の活躍として、女性は、ネットワークが良く、仲間に入っていけるなどの特徴があり、火災予防では防火訪問、要援護者調査、生活防火技術などまた軽可搬ポンプ消火、展炎消火支援、避難者支援、類焼防止支援、要援護者保護、避難所出火警戒などそれぞれに地域により違うので、皆さんで考えて頂きたい。また、千葉の田畑百貨店、アスクル大規模倉庫火災、糸井川大規模火災、ロンドンのマンション火災などの出火状況、消防活動の状況、被害の状況など分かりやすく説明頂き大変好評であった。

引き続き、市原市消防団（小出明美部長、小出敦子班長、古川典子班長）、佐倉市消防団（木内一子班長8団員）、大網白里市消防団（新妻美保班長、大貫由紀子副班長、高須賀洋子団員）及び木更津市消防団（渡辺厚子班長、萩原富士子団員、鈴木美香団員）からそれぞれ活動事例が報告され、あるいは今後の取組に対する意気込みが説明された。既に地域の幼稚園

などに出かけて防災思想の普及啓発事業を展開するなど豊富な活動実績を有している消防団もあり、これから積極的に活動に取り組むという決意表明をした消防団もあり、今後は楽しみな事例報告であった。

最後に、情報交流会が行われ、県内の女性消防団員が一堂に会した機会を捉え、あちこちで所属の団を超えて話が弾み、また名刺交換などの交流が図られた。



石橋会長挨拶



添谷消防課長挨拶



菅原進一講師



市原市消防団



佐倉市消防団



大網白里市消防団



木更津市消防団

第23回全国女性消防団員活性化広島大会の開催

第23回全国女性消防団員活性化広島大会が平成29年11月16日（木）午前10時から『ようこそ 平和を未来につなぐ広島へ -みんなで減災！ 輝け 消防女子-』の大会テーマのもと「広島グリーンアリーナ」で開催されました。

稲山消防庁長官、秋本日本消防協会会長及び延近広島大会実行委員長の主催者挨拶、湯崎広島県知事、松井広島市長の祝辞がありました。

最初に、久米南町消防団、福山市消防団、別府市消防団による防火防災啓発劇が行われました。

また、いちき串木野市消防団、青森市青森消防団、仙北市消防団、津島市消防団、京都市山科消防団による活動事例の発表がありました。

記念講演は、日本プロ野球選手会会長の新井貴浩による「私の野球人生」が行われ、パネルディスカッションは、秋本会長がコーディネーターとなり「女性パワーと地域防災力強化」をテーマで行われました。

『今、火災、自然災害が相次ぐなか、私たちは、家族の、そして地域の安全を守り、より豊かな幸せを実現するために、この広島大会でしっかりと結び合った全国の絆を大きな励みにして「みんなで減災！ 輝け消防女子」を合言葉に、女性消防団員の力を一層発揮することを宣言します』との大会宣言を行って閉会しました。

本県からは、千葉市、習志野市、市原市、船橋市、松戸市、柏市、浦安市、佐倉市、銚子市、匝瑳市消防団など10消防団60名と石橋消防協会長と協会事務局2名が参加しました。



平成29年度消防団員指導員研修の開催

10月28日(土)~29日(日)

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、10月28日から29日の1泊2日の日程により、千葉県消防学校において行われました。

研修には30所属、48名が参加し、28日9時から入校式が行われ、国歌斉唱、入校生指名点呼の後、石橋消防協会長の式辞、淡路県消防学校長及び所属を代表して小川芝山町消防団長の挨拶がありました。

その後、「研修指導・住民指導」や「幹部心得」などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において「訓練礼式」及び「火災防ぎょの実地訓練を行いました。

宿泊は千葉みなとの「ポートプラザちば」で、バスによる送迎が行われました。

29日は、8時半からの朝礼に続き、「訓練礼式」「火災防ぎょ・救助訓練」及び「現場指揮監督」の研修を行い、午後3時半からの修了式で、全員が修了証書を受けて全課程を無事修了しました。



石橋会長挨拶



淡路消防学校長挨拶



小川芝山町消防団長挨拶



研修風景

淑徳大学・千葉科学大学・帝京平成大学 3大学学生消防隊による消防(団)活動啓発イベント

千葉県では、平成29年10月28日(土) 淑徳大学の大学祭「龍澤祭」において、それぞれ消防(団)啓発活動を実施しました。

当日は11時から①はしご訓練の実演、②救急救命講習(心肺蘇生法体験及びAEDの実技訓練)、③煙体験ハウス、④水消火器による消火体験、⑤子供用防火衣の試着、⑥消防団車両の展示、⑦活動パネルの展示、⑧消防団関連グッズの配布、チラシの配布など実施しました。特に救助活動の実演が大盛況でした。

参加団体は、淑徳大学、千葉科学大学、帝京平成大学及び(公財)千葉県消防協会が参加しました。

イベントには多くの来場者が訪れ、消防に対する理解を深めることができました。



石橋会長挨拶

◆龍澤祭



消防団車両の展示



水消火器による消火体験



チーバくん・ちはなちゃん



はしご訓練の実演

消防・防災活動に関する出前講座の開催

千葉県、市原市消防局では、平成29年11月1日（水）県立市原八幡高校体育館において高校生を対象とした消防団活動への参画促進及び消防・防災活動全般についての理解促進を図ることを目的に出前講座を開催しました。

出前講座では、①消防団PRムービーの上映、②消防団業務の紹介、③心肺蘇生法実習を行いました。これらの実習では帝京平成大学の学生消防隊、救急救命士コースの学生さんに、消防団業務の紹介については、市原市消防団のみなさんに活躍していただきました。



市原市消防団の寸劇



心肺蘇生法実習



心肺蘇生法実習



帝京平成大学

東 西 南 北

～船橋市消防局：救急フェアを開催～ (救えるべき命を！あなたの勇気とAEDで！) 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成 29 年 9 月 3 日 (日) 救急医療週間の一環としてイオンモール船橋を会場に救急フェアを開催いたしました。

心肺蘇生法及びAED体験、救急活動の実演、救急車の展示のほか、船橋市関係各課の協力のもと、AED啓発、乳がん検診の啓発、児童虐待防止啓発のコーナーを設け、船橋市の公認キャラクター目利き番頭「船えもん」も登場し大いに会場を盛り上げました。

多くの市民の皆様にも、救急車の適正利用の普及啓発、応急手当の重要性について理解と認識を深めていただきました。



松戸市地域防災リーダー・松戸市防火協会西口支部合同研修会を開催！ 松戸市消防局西口消防署

松戸市消防局西口消防署は、平成 29 年 9 月 11 日 (月)、松戸市地域防災リーダー・松戸市防火協会西口支部合同研修会を開催しました。西口消防署管轄の地域防災リーダー・松戸市防火協会西口支部の会員総勢 60 名が参加し、千葉県西部防災センターにて HUG 訓練及び防災体験を行いました。

HUG 訓練では大規模災害発生時、避難所における避難者の受け入れ方を参加者が協議し振り分ける図上訓練を行い、避難所運営の難しさを痛感していました。

防災体験では、千葉県西部防災センターの最新鋭の施設を使用し地震、消火、煙及び風の災害を体験し、自然災害の恐ろしさを感じていました。

近年自然災害が多発している状況で我が町に起こった災害に地域の力で立ち向かってもらえるよう、今後も防災意識を高めていけるような活動をしていきたいと思っております。



平成29年度署長確認(救急隊)を実施 柏市消防局

柏市消防局では、9月20日から22日までの3日間柏市消防訓練センターにおいて、市内の4署7分署、全36隊が救急活動能力向上を目的とした署長確認(救急隊)を実施しました。

訓練想定を付与された各隊は、実際の現場さながらに各隊員が連携の取れた活動をし、救急技術を遺憾なく発揮した訓練となりました。



濃煙内での消防活動。視界 1 m !

柏市消防局

旭町消防署・西原分署合同で、濃煙内での消防活動訓練として柏市消防訓練センター訓練施設を使用し、火災時の検索訓練を行いました。

訓練施設内にスモークマシーン及び発煙筒を設置し、模擬的な濃煙状態をつくり、訓練を行いました。

濃煙内は視界1m、訓練を行なった隊員は、改めて活動の難しさを実感しました。

今後も継続的な訓練を行い、市民の期待に応えられる消防を目指します。



市民参加型の「消防フェスタ」を開催

柏市消防局西部消防署・旭町消防署

柏市消防局西部消防署と旭町消防署の合同で平成 29 年 10 月 8 日(日) モラージュ柏隔地駐車場において、市民参加型の「消防フェスタ」を開催しました。当日は 2,000 名を超える多くの方々にご来場いただき、はしご車乗車体験やAED体験、ロープ渡り体験等、様々な体験に参加していただき防火防災に対する意識の高揚を図ることができました。



交通安全運転講習会を実施

八千代市消防団

八千代市消防団では、平成 29 年 10 月 8 日(日)に、八千代警察署交通課職員の協力のもと、「八千代市消防団交通安全運転講習会」を開催しました。

多くの団員が参加し、運転の基本的な心構えを再認識するとともに、公用車による事故防止対策、緊急走行時の注意事項などについて、2 時間に及ぶ講習を行いました。この講習を生かし、災害時のみならず、日常生活においても交通事故ゼロを目指してまいります。



東 西 南 北 **秋季全国火災予防運動第3方面本部予防業務研修会を実施**
印西地区消防組合消防本部

印西地区消防組合消防本部では、平成29年11月10日、秋季全国火災予防運動の一環として消防本部予防課職員をアドバイザーに迎え、第3方面本部予防業務研修会を実施しました。

研修会には約80名が参加し、立入検査4件、火災原因調査2件をテーマに6件の事例発表を行いました。参加職員からの質疑として基礎的なものから特異事例時の対応まで活発な質問が飛び交い、アドバイザーからは国の統計を含めた意見を聞くことができ、非常に有意義な研修会となりました。

複雑化していく予防業務を的確に対応していくため、職員一人ひとりの知識の向上を図るべく、今後も研修会を開催していきたいと思っております。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成30年1月

- 1月 4日 仕事始め
- 5日 } 平成30年出初式
- 2月 7日 }
- 21日 消防団活動啓発イベント(千葉市)
- 24日 婦人防火研修会
- 26日~27日 千葉県消防広域援護隊合同訓練



平成29年度 全国統一防火標語
「火の用心 ことばを形に 習慣に」

<表紙の説明>

中の島大橋 (木更津市) 君津支部

中の島大橋は、木更津市にある、高さ27メートル、長さ236メートルの日本で最も高い歩道橋です。市のシンボリックな存在であり、橋からは、東京湾アクアラインはもとより、都心の高層ビルや富士山を望むことができます。

また、夕暮れ時には、富士山を背景にロマンティックな雰囲気となり、恋人の聖地としても認定されています。

平成29年12月16日より、毎週土曜日午後6時から、花火大会「木更津恋物語冬花火恋人の聖地/中の島大橋」も開催されております。(平成30年2月10日まで)

カップル、ご家族等で、足を運んでみてはいかがでしょうか？

